

令和2年度 スポーツ観光誘客促進事業「メディアミックスプロモーション業務」
企画提案にかかる質問事項

No.	質問	回答
1	昨年度も同様の事業があったと思うが、今年度このような仕様になった背景と、より今年度期待する部分があれば教えて欲しい。	スポーツツーリズムは自然、リフレッシュ、開放感などのキーワードと非常に相性が良いので、スポーツイベントを中心としたプロモーションのみだけでなく、滞在日数の延長や消費単価の向上も含め、安心安全に繋がる防疫型観光としてスポーツの位置づけを情報発信していければと考える。
2	WEB以外のメディアに予算をかけようと思った背景と、イベントが発信し難い状況で改めて紙媒体を含めたWEB以外の媒体を活用しようと思った背景があれば教えて欲しい。	別途、スポーツ観光誘客促進事業から「スポーツアイランド沖縄WEBサイト活用プロモーション業務」にて、WEB媒体を介したプロモーションを予定していることから棲み分けを行った。また、同事業の中で、県外海外のイベント参加を軸にプロモーションを実施する計画もあるが、イベント状況が不安定な中で、イベント参加が非常に難しくなっている。そのような状況でスポーツツーリズムに対する興味関心の維持を図るためにはWEB媒体だけではなく、様々な媒体を介して多角的にプロモーションを行うことで、沖縄にしっかり目を向けていただく必要性があると考え。
3	マラソン、サイクリングなど主要な種目で、今年から来年にかけて中止が決まっている大会も多い中、プロモーションをすることで逆にリスク(やってないじゃないか、といった意見)が出てくる可能性もあると思うが、その辺に対する見解が知りたい。開催可能な大会の具体的な情報を公開していくのか。	大会の具体的な情報を掲載することについては、開催する大会事務局と発信できる情報や制限を調整したうえで掲載する。また、メディアへ掲載する情報は大会情報に限らず、スポーツ愛好家に訴求できる県内のマラソンコースや景勝地など、沖縄のスポーツ環境のPRを含めて実施する。
4	事業を進めていく中で、状況を勘案し、マラソンに関する情報露出は抑える等の調整も想定されるのか	種目毎の濃淡は調整の中で出てくると思う。例えば、マラソンが情報発信として厳しければ別の分野で情報を膨らませるなど、調整で対応したいと考える。イベント中止による情報発信についても、発信を止めることで、今までの取組みがストップする事がないよう、先に繋げる情報発信ができるようなプロモーションを展開していければと考えている。
5	昨年の実施報告書を参考までに参照させていただきたいのですが、データ等でいただけますでしょうか。	昨年度はメディアミックスプロモーション業務を行っていない為、参照できる報告書はございません。(昨年度は、各種目ごとの展開にて適宜、メディアを活用したプロモーションを取り入れておりました。当該内容の参照を希望する場合は沖縄県文化観光スポーツ部スポーツ振興課にて閲覧可能です。)
6	映像関連でモデル・タレントを起用した場合の肖像権は如何お考えでしょうか。通常であれば3カ月・半年・年契約等です。	仕様書 P6 「(5)成果物の使用期限は設けないものとする」と記載の通り、成果物については一定の期間ではなく期限なしでの使用を考えておりますので、(二次使用も含め)肖像権などの条件は仕様に従いご提案ください。
7	プロモーションについてですが、開始時期について御社が考えている時期の目安はありますでしょうか。	応募要綱 P4 「(2)審査結果の通知」に記載の令和2年8月7日(金)までに契約事業者を決定の予定ですので、その日以降からのプロモーションを考えております。